



A 列用紙サイズ

えーれつようしさいず

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z
数字

A 列用紙サイズ

列番号	寸法 (mm)
A0	841×1189
A1	594×841
A2	420×594
A3	297×420
A4	210×297
A5	148×210
A6	105×148
A7	74×105
A8	52×74
A9	37×52
A10	26×37

短辺と長辺の比率 1:√2 (1:1.414...)

概要

A 列規格とは、短辺と長辺の比率が $1:\sqrt{2}$ で、面積が 1 m^2 になる用紙を A0 判 (A 列全紙) とし、以下長辺で半分に切るごとに A1 判から A10 判まで定められた用紙の規格です。

日本の紙の寸法規格は 1929 (昭和 4) 年に JES (日本標準規格) によって定められました。この寸法規格は戦後、若干改訂されて JIS (日本工業規格) に引き継がれ、現在の「紙加工仕上寸法」になっています。

日本の紙の寸法規格 A 列には、ドイツの紙の寸法規格が採り入れられています。このドイツの紙の寸法規格は、ドイツの化学者オストワルト (1853-1932) の提案によって定められたもので、現在、ISO (国際標準化機構) で規定されています。

印刷物を作る場合、仕上がり寸法の外側にトンボをつけて印刷する必要があります。そのため、用紙にトンボのスペースを加えた「ノビ」サイズが使われることがあります。A3 判の印刷物を作る場合は A3 ノビサイズの用紙を用いると、トンボを入れて印刷することができます。「ノビ」サイズはメーカーごとに異なります。